

佐々貴義式先生へ

加賀美 常美代

佐々貴義式先生、今、どこにいらっしゃるのでしょうか。

昨年12月末にバックパックを背負った義式先生を大学のキャンパスでお見かけし、手を振った後、先生が急にいらっしゃらなくなってしまい、深い悲しみと戸惑いとともに、何カ月も喪失感を味わっております。

昨年4月に病気を知った時、義則先生は私に必ず病気を治すと約束してくださいました。先生は、休職して病気を治す選択肢ではなく、通院治療をしながら、学生たちや私たち教員とキャンパスで最期まで教育者として過ごされる道を選びました。私たちは、そんな先生を傍らで見ながらきっと回復するんだと、当たり前のように思っていました。

義則先生が1月2日に逝かれた後、私たちは深い悲しみに包まれていましたが、すぐ重要なコース運営、カリキュラム変更、非常勤講師手配、学内行事等が次々と待っていました。まず、修士論文の最終提出と公開発表会。義式先生が指導をくださった学生たち、立派に修士論文を書き上げ、気丈に発表も成し遂げ、全員合格しました。次に、義式先生のいない前期博士課程の入試を私たち教員は初めて経験しました。頭の回転の速い緻密な先生に、これまで入試は任せっぱなしだったので、コースの先生方やAAの方たちと知恵を振り絞って何とか乗り越えました。この時ほど、先生がいらっしゃらないことの重みを感じたことはありません。その後、後期博士課程の入試の後、前期課程の修了式を終え、無事に修士2年生を全員送ることができました。

そして、また4月。今年は新入生を12名迎えました。例年と同じように新入生オリエンテーションを実施し、授業も順調に始まっています。先日、大学院説明会も終わりほっと一息ついているところです。

義式先生から引き継ぎ、引き受けた頼りない主任でしたが、あと1年、何とかやっていくつもりです。義式先生が主任をなさっていた4年間のように、ちゃんとコース運営や学生指導ができているかどうかわかりませんが、私たち教員を見守っててください。どうか安らかに眠ってください。

ご冥福をお祈り申し上げます。

かがみ とみよ／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科